

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立伊興中学校 校長 千葉 千登勢

1 学校教育目標

- 進んで学ぶ生徒
- 心豊かな生徒
- たくましい生徒

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度－

- ① 学校図書館を活用し、読書の幅を広げ、読書力を上げるとともに心豊かな生徒を育てる。
- ② 学校図書館を効果的に活用し、主体的に学び、探究する生徒を育てる。
- ③ 情報の取捨選択を行い、自分の考えを深め、まとめる力を育てる。

3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 16,668 冊 (蔵書基準冊数 1424 冊) / 蔵書率 117% (元年度末 114%) ② 新規購入図書 1222 冊 / 廃棄図書 832 冊 / 増減冊数 390 冊										
	分類	総記 0 類	哲学 1 類	歴史 2 類	社会 3 類	自然 4 類	技術 5 類	産業 6 類	芸術 7 類	言語 8 類	文学 9 類
蔵書構成割合		1.9%	3.2%	8.8%	13.2%	9.4%	5.0%	2.9%	12.7%	7.1%	35.8%
*国基準		6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間 : 12:30～17:30 ② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 ③ 学校図書館利用率	6 冊 (前々年度末 : 8 冊) 4.5% (前々年度末 : 5.3%)									
(令和4年度末)											
蔵書状況	① 蔵書数 冊 (蔵書基準冊数 冊) / 蔵書率 % ② 新規購入図書 冊 / 廃棄図書 冊 / 増減冊数 冊										
分類	総記 0 類	哲学 1 類	歴史 2 類	社会 3 類	自然 4 類	技術 5 類	産業 6 類	芸術 7 類	言語 8 類	文学 9 類	
蔵書構成割合											
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%	
利活用の状況	① 開館時間 : ② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 ③ 学校図書館利用率	(前年度からの変更あり・なし) 冊 (前年度末 : 冊) % (前年度末 : %)									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読書に親しみ、本を読む習慣をつける。
	② 調べる学習を通して、正しく情報を読み取りまとめる力を育む。
	③ 図書館の活用の仕方を理解し、地域図書館でも活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 休み時間等に学校図書館や学級貸出の書籍を活用し、読書をすることができる。 ② 複数の書籍から情報を収集し、比較・検討する中で、取捨選択し、まとめることができる。 ③ 書籍の配架方法（日本十進分類法）を理解し、図書館を活用することができる。	① 生徒一人あたりの年間貸出数 10 冊 ② 校外学習のまとめ（新聞やレポート）提出率 90% 以上 ③ 探究活動の授業を 5 回実施
目標達成状況	

①
②
③

第2学年	① さまざまなジャンルの書籍に親しみ、読書力を上げる。
	② 複数の書籍から情報を取り入れ、取捨選択する力を育む。
	③ 図書館の活用の仕方を理解し、地域図書館でも活用できる力を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
① 休み時間等に学校図書館や学級貸出の書籍を活用し、読書をすることができる。 ② 複数の書籍から情報を収集し、比較・検討する中で、取捨選択し、まとめることができる。 ③ 書籍の配架方法（日本十進分類法）を理解し、図書館を活用することができる。	①生徒一人あたりの年間貸出数 10 冊 ②校外学習のまとめ（新聞やレポート）提出率 90%以上 ③探究活動の授業を 5 回実施

目標達成状況

①
②
③

第3学年	① 発達段階に応じた内容を選び、読書を通じて考えを深め、広げる意欲を育てる。 ② 情報を比較・検討する中で取捨選択し、自分の考えを表現する言語力を育てる。 ③ 図書館の活用の仕方を理解し、地域図書館でも活用できる力を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
① 休み時間等に学校図書館や学級貸出の書籍を活用し、読書をすることができる。 ② 課題に応じた書籍を選択し、必要な情報をもとに自分の考えをまとめ、表現することができる。 ③ 書籍の配架方法（日本十進分類法）を理解し、図書館を活用することができる。	①生徒一人あたりの年間貸出数 10 冊 ②校外学習のまとめ（新聞やレポート）提出率 90%以上 ③探究活動の授業を 5 回実施

目標達成状況

①
②
③

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 国基準をクリアできるよう、各分類の足りない書籍を購入する。 ② POP 作成や読書感想文等の国語の課題とのつながりを持たせ、発達段階に応じた書籍を増やす。	
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 4 月に支援員による学校図書館オリエンテーションの実施を通し、生徒に周知するとともに、教員への周知を徹底する等、連携・協働に取り組む。 ② 調べる学習や校外学習、授業等で、必要な資料の相談を積極的に行い、地域図書館を活用する。 ③ 年度末に未返却がないよう、連携して呼びかけ、回収率を	

100%にする。	
【その他】 ① 学校図書館だよりの発行や図書委員の仕事の充実を図ることにより、図書室の利用率を上げる。 ② ビブリオバトル等の読書の幅を広げる活動を教科の中に取り入れる。 ③ 教員の図書室の利用率向上を図る。	

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）